



木々を渡る風も爽やかな季節となりました。

この時期になると、新緑の中で思いっきり深呼吸したくなりますね。マスクを外してすがすがしい空気を目一杯吸い込んだら、慣れない新生活で疲れ気味のココロとカラダもリフレッシュできますよ。

5月は皆さんが心待ちにされている大型連休がありますね。マスク着用のお願いが解除されてから初めての大型連休となります。思いっきり楽しんでください。

4年ぶりの開催!桜のライトアップ

去る3月24日～26日に「ねやがわパーク事業 桜と光の舞い」を打上川治水緑地で実施しました。



桜も開催の日に合わせたとように咲き始め、開催初日には満開とまではいきませんでした。会場全体が華やかな雰囲気になっていました。



点灯セレモニーには、大勢の人に来ていただき、また、司会の桑原征平さんの名司会っぷりも相まって、大変にぎわっていましたよ。鏡開きでは皆さんのヨイショ!の掛け声にパワーをもらい、勢いよく木槌で叩いたら、スーツがびしょびしょに濡れてしまったのは内緒です(笑)。

「一隅を照らす」仕事を

4月3日、新規採用職員を迎え入れました。

市では今、若手職員を中心に「市民サービス改革」を進めており、改革の行動指針の一つに「『市民の事情』^{大なり}>『行政の都合』」があります。新規採用職員の皆さんの市役所の固定概念に縛られないフレッシュな考え方が、現時点での行動指針を一番体現しているかもしれません。新規採用職員の皆さんには「臆せず自分の意見を言ってほしい」と伝えました。



市役所の仕事は「縁の下の力持ち」であり、市民の皆さんに「今日も一日何事もなく過ごせた」と言っていただけることが最大の誉め言葉なのかもしれません。決して華々しい仕事ではないかもしれませんが、一人一人がそれぞれの場所で自分の仕事に一生懸命取り組むことが、寝屋川市全体を良くすることにつながると私は考えています。まさに「一隅を照らす」仕事を、新規採用職員の皆さんには期待しています。

